【第3回課題】教育情報化教材論A

E16-5406 神谷陽太

○eラーニング周辺事例を調査(名称、出典(URLなど))

・関西大学初等部の6年生が、インドの学校との交流をオンラインで続け、その活動の記録本として出版した。

(関西大学初等部6年生『ナマステ! 会いたい友だちと―友情は国境を越える』さくら社,2016)

・tonari株式会社の製品「tonari」

壁一面ほどの大きな液晶画面でテレビ電話をすることで、空間同士が繋がっているような感覚でコミュニケーションをとることができる。

(https://tonari.no/ja/)

○調査結果に基づいて自分のeラーニングを定義

個別学習、個別最適化された学習だけでなく、国内外の離れたところにいる他者とのコミュニケーションによる学習形態をも含むもの。また、「tonari」からも想像できる通り、共有できるものが空間にまで拡張しつつある。